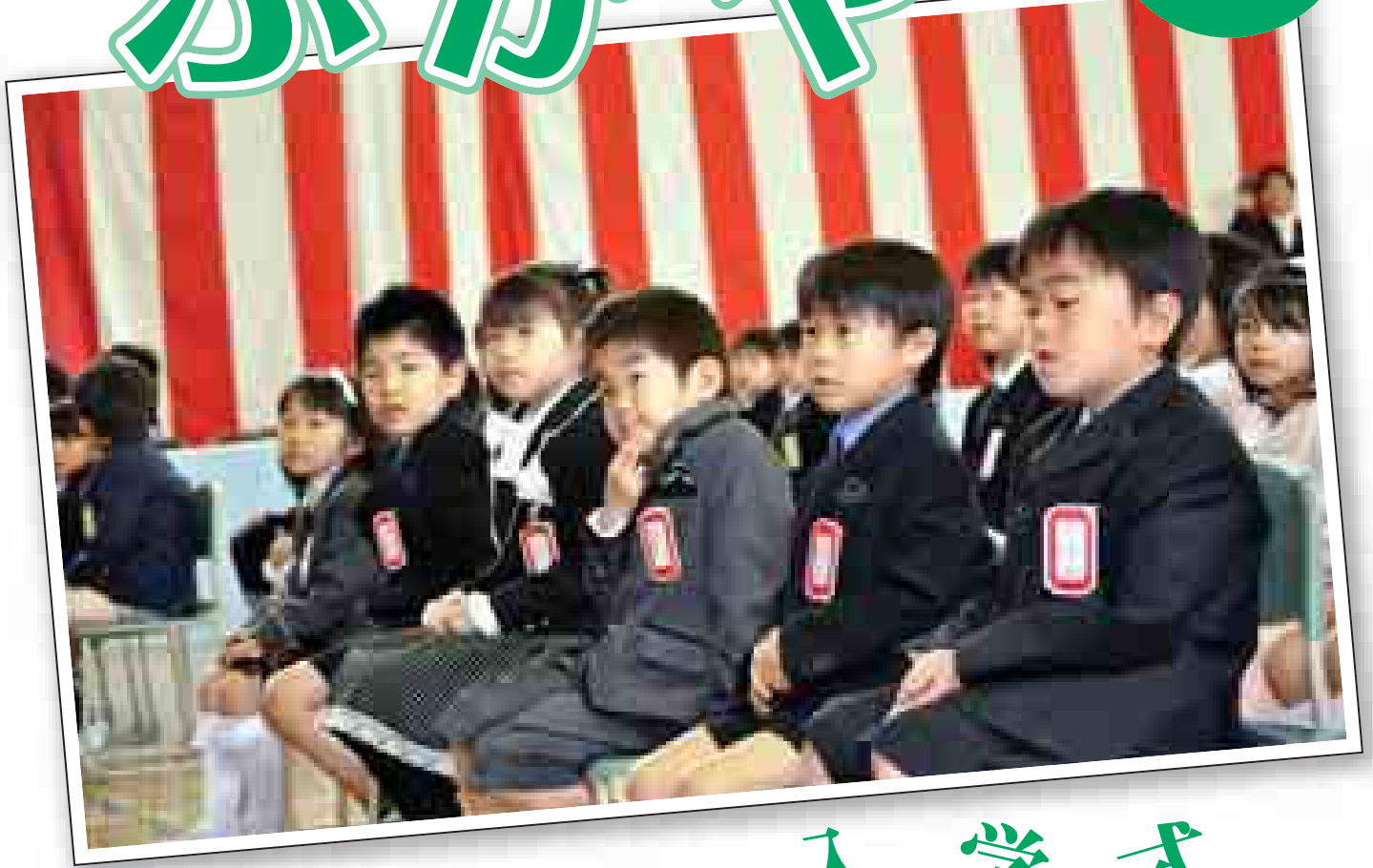




# 市議会だより

# ふかや

No.22  
2011.6.1



## 入学式

### 3月定例会・ 5月臨時会号

岡部西小学校

- 新市議会議員の紹介 ..... 2,3
- 5月臨時会の概要 ..... 4
- 新年度予算を可決 ..... 6,7
- 常任委員会報告 ..... 8,9
- 予定されていた一般質問 ..... 10~17



発行／深谷市議会 編集／ふかや市議会だより編集委員会 〒366-8501 埼玉県深谷市仲町11番1号 深谷市議会事務局

開会中は、議会テレビ中継を市役所本庁舎1階市民ホールでご覧いただけます。  
また、インターネットによる生中継及び録画中継もご覧いただけます。

市民の声を  
市政に!!

# 新市議会議員

# 26名紹介

議会改革すすむ!

改選前は34名だった議員定数を8名削減しました。これは埼玉県内では最も多い削減数です。



新井 清 (66)  
無所属 当選5回



石川 克正 (43)  
無所属 当選2回



今村 三治 (62)  
無所属 当選9回



清水 健一 (50)  
無所属 当選2回



清水 睦 (47)  
日本共産党 当選4回



須藤 邦男 (61)  
無所属 当選5回



高田 博之 (66)  
無所属 当選4回



加藤 温子 (71)  
無所属 当選4回



加藤 利江 (62)  
無所属 当選3回



倉上 由朗 (61)  
無所属 当選4回



武井 伸一 (65)  
無所属 当選1回



田島 信吉 (69)  
無所属 当選3回



田嶋 均 (61)  
民主党 当選4回



為谷 剛 (41)  
無所属 当選1回



五間 くみ子 (41)  
公明党 当選2回



小森 秀夫 (62)  
無所属 当選4回



仲田 稔 (63)  
無所属 当選4回



永田 勝彦 (67)  
無所属 当選3回



中矢 寿子 (54)  
公明党 当選2回



馬場 茂 (60)  
無所属 当選2回



柴崎 重雄 (60)  
無所属 当選3回



清水 修 (63)  
日本共産党 当選4回



松本 政義 (62)  
無所属 当選5回



三田部 恒明 (55)  
公明党 当選3回



村川 徳浩 (51)  
無所属 当選1回



吉田 幸太郎 (62)  
無所属 当選3回

4月24日、深谷市議会議員一般選挙が行われました。今回の選挙では、定数26名に対して32名が立候補し、即日開票の結果、新議員が誕生しました。深谷市の有権者数は62,468人、投票率は53.72%（前回63.23%）でした。ここでは、当選した議員を紹介します。氏名（50音順・敬称略）、年齢（6月1日現在）、党派、当選回数（旧市町での当選回数を含む）の順に掲載しました。

「議会あれこれ」党派ってなあに?…考え方・主義や利害関係などを同じくする人々の集まりのことです。





「議会あれこれ」議会について開かれるの?」市議会には3月、6月、9月、12月に開催される定例会と必要に応じて開かれる臨時会があります。



# 福祉・教育予算に重点!

## 平成23年度 一般会計予算

平成23年度の予算は、事業仕分けや補助金の見直しなどの結果・経過を考慮しつつ、救急医療体制の確保、将来を担う子供たちの学習環境の充実など、将来を見据えた取り組みの編成となりました。

### 予算に盛りこまれた 主な事業の概要

- ①寄附講座への寄附  
医学部医学科のある大学に講座を設けていただき、その一環として医師を深谷日赤へ派遣していただきます。
- ②後期研修医への研修資金貸与事業  
後期研修終了後、市内の病院に一定期間勤務することを条件に、研修資金の返還を免除します。
- ③医師育成奨学金の貸与事業  
医学部医学科の学生に対し、医師免許取得後、さらに研修期間終了後、深谷日赤に一定期間勤務することを条件に、市が学費を全額負担する制度です。

市内すべての小・中学校の普通教室を対象に、中学校については平成24年の夏までに、小学校については平成25年の夏までに整備する予定です。

- ①少人数指導事業  
児童一人ひとりに応じた指導や基礎基本の確実な定着を図るため、小学校のATを、各校1名(19名)に加え、学級数の多い10校に、各1名を追加配置します。
- ②学校総合支援員配置事業  
虐待を含め保護者の対応など学校運営上の問題や中学生の補修学習など、学校を総合的に支援するため、中学校に学校総合支援員を各校1名(10名)配置します。

### 10月より実施 公の施設の 使用料などを見直し

施設の名称	使用料など
公民館(100㎡未満)	1時間当たり 300円
公民館(100㎡以上)	1時間当たり 600円
公民館(体育室)	1時間当たり 全面 1,200円 半面 600円
パティオ(一般)	1,000円
パティオ(小・中学生)	500円
老人福祉センター(60歳以上の方)	1日当たり 100円

※その他の施設や詳細については、市広報・ホームページ等でご確認ください。

使用料などを受業者負担の原則に基づいた適正な額に見直し、利用する方と利用しない方の負担の公平性を確保し、財政運営の健全性と行政サービス水準の確保を図るため、公の施設などの使用料の見直しを行いました。主なものは左記のとおりです。

1  
医師確保対策  
(約3655万円)

2  
市内小・中学校に  
エアコン設置  
(約2億5270万円)

3  
アシスタントティーチャー  
(AT)の増員  
(約3006万円)

### 議員定数削減 一定数は26名へ

3月定例会最終日に、議員提出議案として議員定数を次回選挙からの定数である28名から、2名減の26名とする条例案が提出され、審議の結果、起立多数により可決されました。この条例は、今回の一般選挙から適用されました。

# 新年度予算を可決

昨年度(6月補正予算後)より約8%の増

平成23年深谷市議会第1回定例会は、3月1日から3月25日までの25日間の日程で開かれました。  
今議会では、条例の制定2件、条例の一部改正29件、条例の改正1件、補正予算14件、新年度予算10件、人事案件4件、ほか4件の64議案が市長から提出されました。また、市議会議員定数削減議案など議員提出議案2件及び請願1件が審議されました。



# 総務委員会

委員長 五間くみ子  
副委員長 石川 克正  
委員 井田嶋 敏  
武仲田 俊雄  
今須藤 邦清  
須新 清

## 医師育成奨学金貸与条例

問 県にも同様の制度はあるのか。

答 県では埼玉医科大学に委託し奨学金を募集している。奨学金を受けた場合は一定期間県内の公立病院に勤務することが条件になる。

問 現在も勤務実績のある中で、この制度は過剰なサービスでは。

答 深谷赤十字病院の掲げる診療科目に医師は99名必要であるが、現在60数名しかいない。医師不足解消には短期・中期・長期的に医師を育成していくことが必要である。この奨学金を受け、10年間深谷日赤に勤務していただくことがこの制度の目的であり有効と考える。

## 平成23年度一般会計予算

問 地方交付税が前年対比約36億円増加しているのはなぜか。

答 要因として①平成22年度の当初予算で政策的経費は6月補正で組み込んだため、6億円ほど当初から留保したこと。②合併特例債でまちづくり基金を設置し、平成

23年度において33億円償還しその70%の交付税算入を見込み23億円の増にしたこと。③地方財政政策で3%弱の交付税増を見込み、基準財政需要額等約8億円弱あり、これらを合わせて30億円強の増を見込んでいます。

問 今後の地方交付税の見込み、方向性はどうか。

答 ここ数年は、臨時財政対策債という地方で自主的に起債できる財源確保を国が実施しているが、今後、交付税に頼らない財政基盤を構築していかなければならない。

問 今回の予算の組み方の考えは。

答 前年比8%増の予算を編成したが、民生費及び衛生費の増が大きき要因である。市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを優先的に考え編成した。



# 福祉文教委員会

委員長 寿子  
副委員長 博之  
委員 水藤 睦江  
清加 利愼  
新井 幸一郎  
吉田 義和  
松本 政和  
中村 幸男

老人福祉センター条例の一部を改正する条例

問 使用料の徴収により、施設の改修や利用形態に付加価値を付ける等の考えはあるか。

答 施設の改修は随時実施していくが、利用形態に付加価値を付ける考えはない。

岡部B&G海洋センター条例の一部を改正する条例

問 プールの復旧見込みはあるのか。また解体する考えは。

答 現在は休止で、老朽化のため再開は考えていない。解体については今後検討していく。

## 平成23年度一般会計予算

問 扇風機設置の時、エアコン導入を考えなかったのか。

答 検討はしたが、扇風機でも一定の効果があると考えた。昨年の暑さは異常であった。

問 学校総合支援員配置事業・中学生補習学習事業の目的は。

答 教育指導にかかわる支援を、最優先目的としている。

問 生活保護受給者の若年層への就労支援はどう行っているのか。

答 就労支援員1名を福祉課に置き、ハローワークや市の就職相談室とも連携し支援。今年度自立した方は、6世帯7人である。

問 敬老祝金を、一律1万円にした理由は。

答 見直し結果を受け、金額より敬意の気持ちを示し、継続とした。

問 高齢者ふれあいの家管理事業にかかわる事業は何か。

答 高齢者ふれあいの家廃止にかえて、各地区のふれあいきいきサロンを支援していきたい。



岡部B & G海洋センター

# 市民環境産業委員会

委員長 加藤 温子  
副委員長 馬場 茂  
委員 三田部 恒明  
小森 秀夫  
栗原 征雄  
宇多 村春  
飯野 恵広

コミュニティセンター条例の一部を改正する条例

問 今まで使用料が無料であったが、有料となる理由は。

答 施設の維持管理費等に対する収入割合が低く、結果的に施設利用していない人も負担している。

深谷市行財政改革推進計画に基づき、受益者負担の原則のもと、公平性を確保。冷暖房費と使用料は徴収となる。

## 一般会計補正予算(第7号)

問 農業対策事業の対象が21件、その理由と支援金は。

答 申請は28件、7件については被害対象農家の基準にあてはまらなかった。支援金は水稲の種と肥料の購入費で10アール当たり6450円である。

## 平成23年度一般会計予算

問 ごみ収集啓発事業の中で容器設置補助金は。

答 3万円を上限に10カ所を予定している。

問 自治会長の報償費減額経緯と

隣組長等にもきめ細かな対応は。

答 自治会長へは、手当・給料ではなく謝礼的な意味合いである。隣組長等への手当等は、広報配布等で委託契約をしている。各自治会のほうで考えていただきたい。

問 ごみ収集車の「ふっかちゃん」のデザイン経費は。

答 入札の際、設計の中に含む。1台50万円、42台全車に入る。岡部地区用排水維持管理連合会に対する運営費補助金の継続について(請願)

意見 生活雑排水等も入る排水路であり、費用のかかる組合でもある。採択すべきと考える。

意見 50年間補助体制が変わっていない。その上、補助金の適正な見直し議論が進まない。この請願は継続するべきである。



コミュニティセンター

# 建設委員会

委員長 健一  
副委員長 重雄  
委員 勝 勝朗  
富 由三  
倉 上村  
今 本  
橋 永 彦

都市公園条例の一部を改正する条例

問 大里郡及び児玉郡の各市町との相互利用の規定があるが、逆の場合の条件も同一なのか。

答 同様に同額で使用できる規定があり、整合性は保たれていると考える。

問 使用料について、一般利用者からの意見聴取の機会があったのか。また、意見の主な内容は。

答 施設管理公社を通じての意見または市長への手紙等による意見を賜っている。内容としては、テニスコート使用料の格差などを例に、使用料金の適正化を求めるものなどがあった。

## 平成23年度一般会計予算

問 西通り線について、整備が遅れている理由は。また、協議会ではどんな内容を協議しているのか。

答 整備が遅れている理由としては、地元の協力・同意が十分に得られていないことが挙げられる。また、協議会では、地元の意向の

把握方法等について協議している。

問 原郷上野台線について、開通見込みは。また、幅員及び雨水対策は十分なのか。

答 開通時期については、平成30年を予定している。また、現在2メートルとしてある幅員及び集中豪雨による雨水対策については、詳細設計の中で考慮していきたい。

問 通学路安全対策事業が縮減されているが、要望箇所の整備が進んでいるのか。

答 そのとおりである。

問 道路新設改良事業について、工事延長が大幅に減っている理由

答 予算の減額が主な要因である。また、清心寺北側の踏切幅工事に予算を集めたためである。



清心寺北側踏切

「議会あれこれ」政策的経費について「...義務的経費(人件費、扶助費、公債費など)以外の経常的な事業に必要な経費です。」



# 3月定例会の一般質問期間を休会に！

去る、3月11日に発生しました「東日本大震災」による市民生活の安全確保及び災害地等への援助対策にできる限りの応援態勢を整える必要があるため、平成23年3月定例会における一般質問の期間は全会一致により休会といたしました。

そこで、今回の議会だよりにおいては、予定されていた一般質問と、それに対する市担当部の回答原案を掲載いたします。

なお、この一般質問とその回答は、議会で正式に質疑応答が行われたものではありません。

## 市政運営は公平に

かとう としえ 加藤 利江

**問** 各公民館によって扱いが違うのはなぜか。

**答** 個別の状況に応じて、施設を管理する各公民館長と協議していく。

**問** 教育研究所は貸し出しできないのか。

**答** 会議室や大会議室の利用については、教育研究所の決まりの中で貸し出しは規定していないため、利用できない。

**プレミアム商品券について**

**問** 景気は停滞しているのに、なぜ継続して販売しないのか。

**答** 実施に向けた要望書の提出を受けていたが、今年度は緊急性が低いものと判断し、実施は見送ることとした。

**常盤小学校のグラウンド整備について**

**問** グラウンドに石ころがあ



常盤小学校グラウンド

り、またサッカーのゴールネットが破れたままであるが。

**答** グラウンド整備については学校の管理行為である。またサッカーのゴールネットについては購入する予定である。

## 「浄化槽元年」深谷市も乗り遅れないで

たけい としお 武井 敏男

**問** 県は2011年度を浄化槽元年と位置付け、トイレの排水のみを処理する単独浄化槽から、台所・風呂場等の生活排水すべてを処理する合併浄化槽へ転換。支援強化策の補助制度を拡充する。①単独処理と合併処理浄化槽設置の実態並びに転換促進への市の取り組み姿勢は？②埼玉県は補助制度を全国トップクラスに拡充する。としているが、その概要は？

**答** ①単独浄化槽5541基、合併浄化槽5229基設置。啓発活動や合併浄化槽だけが対象となる維持管理に対する補助制度により転換を支援。②県は新設補助の廃止等既存制度の縮減。これにかわり配管費補助、県承認の地区への上乗せ補助、市町村整備型事業導入の市町村への支援を強化。



防災行政無線

**問** 世界各地で発生している大規模災害。深谷にも深谷断層・榑断層がある。予測不能の大規模災害対策は？①現状の設置状況を、市はどのように認識しているのか？②今後の増設計画はあるか？③行方不明者捜索の協力依頼放送で発見の放送がないか？④大規模災害時の対応策は？

**答** ①状況により聞きづらい場所もあると認識している。②現機種での増設はない。③捜索状況の連絡はなく状況が異なるため放送していない。④大規模災害発生で損壊しない限り発信する。バッテリー搭載のため、約24時間放送可。

## 埼玉県立総合教育センター深谷支所の今後の活用法は

よしだ こうたろう 吉田 幸太郎

**問** 深谷市では、3月末で廃止となる県立教育センターの活用について、どのように考えているのか。また、県との払い下げ交渉はどうなっているのか。結論はいつごろ出るのか。

**答** 市では昨年10月に「埼玉県立総合教育センター深谷支所跡地活用検討プロジェクトチーム」を設置し、施設及び敷地の現状を分析中である。さまざまな視点から、市民にとって最良の活用法を検討している。同時に、施設及び敷地の取得に向け県と価格交渉を進めているが、いつまでに結論が出るかは明言できない。



埼玉県立総合教育センター

**深谷駅北口周辺の開発計画は市としてあるのか**

**問** 深谷駅舎は立派だが、駅周辺ではキンカ堂が解体され閑散としている。市は、景観に配慮しながら駅前の集客力を高めるためにどのようなビジョンを描いているのか。

**答** 深谷駅前土地区画整理事業により、駅前広場や都市計画道路等の整備が完了しているため、民間による土地利用に期待しているところである。また、中心市街地の活性化に向けた取り組みを調査検討していく。

## 環境配慮で経費削減を！

しみず けんいち 清水 健一

**問** 街路灯などの照明をLEDに切り替えることにより、電気料金が約50%に抑えられ、しかも長寿命ということで、環境に優しく、経費削減となるが導入の考えを聞きたい。

**答** LEDを含め、環境に配慮した灯具の選定、設置費用、電気料金などの経費削減や、先進地の状況などを踏まえて研究していく。



LED照明灯

**魅力ある深谷へへへ**

**問** 「ねぎサミット」のテレビ放送や「アド街ック天国」で深谷が紹介され知名度が上がったが、一方では自分が住んでいる市内にあのような施設や史跡があったのかと、知らない市民の皆さんがいるのも事実である。市内には多くの無形文化財や、自慢できるものがたくさんある。経費をかけずにYouTubeなどを使い、市政チャンネルや地域チャンネル、施設チャンネルを設け、市内はもちろんだが、全国にも発信するべきと考えるが。

**答** 市のPRに関しては、各種メディアへの情報提供やホームページを利用して行っているが、より効果的な情報発信方法を調査検討していく。

**窓口手続きでの負担軽減**

**問** 総合支所や公民館などに、テレビ電話を設置することで、住民が本庁舎まで足を運ぶことなく相談を可能にするシステムが全国各地で導入されているが、利便性向上と地域間格差解消のために導入するべきと考えるが。

**答** 積極的に導入を検討しているところである。

一般質問の記事は質問者本人が執筆したものを編集し、掲載しております。

一般質問記事の掲載は、通告順です。

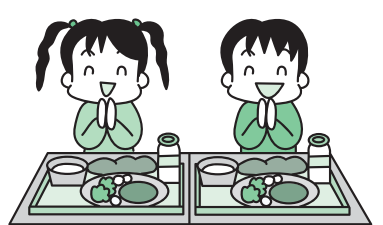


### 給食費の滞納について

しばさき 柴崎  
しげお 重雄

**問** 学校給食は学校教育の一つとして児童・生徒が食に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につける上で重要である。そしてその費用は学校給食法の規定で保護者が負担することとなっている。しかし、保護者が給食費を未納している問題が起きている。そこで、市内の小・中学校の未納状況と対応策を聞きたい。

**答** 深谷市の給食費は小学校が月額3800円（1食当たり220円）、中学校が月額4500円（1食当たり270円）となっており、これを食料費として各学校は、地場野菜を献立に取り入れ、工夫を凝らした給食運営を行っている。給食費の未納については、未納者への通知、電話連絡、家庭訪問などの対応策をとり、99%以上の収納率をあげている。



る。今後も未納を増やさないように努めたい。

### タイガーマスク運動について

**問** 「伊達直人」を名乗る人物から児童相談所へランドセルが送られてから全国各地の施設に寄附行為が相次いでいる寄附者の名前が漫画タイガーマスクの主人公と同じで同様の寄附行為をしていることから、タイガーマスク運動と呼ばれるが、深谷市ではどのような状況か。

**答** 市では、市役所に現金が2件、市内児童養護施設に現金が1件、タオル多数1件である。この善意の活動が一過性のものでなく、一定のルールのもと長く続く活動として定着することを期待している。

### 火災予防対策は進んでいるか

ばば 馬場  
しげる 茂

**問** 住宅用火災警報器の設置状況はどうなっているか。

**答** 深谷市の設置状況は、平成22年のアンケート調査で64.7%。なお、全国では63.6%、埼玉県では62.9%の設置率となっている。設置率100%に向けて、深谷市消防団とも連携を図り、深谷地区防火安全協会、深谷市消防設備協会と協力しながら、設置率を高めていきたい。



住宅用火災警報器

**問** 農産物のPR活動を、市場に向いて定期的に継続していく考えはあるか。

**答** 実施時期をはじめ、PRする作目や、実施場所などを体系的に整理し、一定年度継続的に実施したい。

**問** 鳥インフルエンザ対策は万全か。

**答** 市内農家22戸に対し、飼養羽数に応じた量の殺菌消毒薬の無償配付を実施した。啓発資料を作成し、郵送にて配付した。

**問** 新規就農者に対する支援策は？

**答** 新規就農相談窓口を設け随時相談に応じ、産業祭など年2回、休日においても「休日就農相談会」を実施している。農業委員会では「深谷市ホームページ・アグリハローワーク」により、情報提供を行っている。国や県の支援策については「経営体育成支援事業」や「農業機械等のリース導入支援事業」等がある。新規就農者の状況は、平成21年度は28名、平成23年2月末現在29名を把握している。

### 住宅リフォーム助成制度の確立を

しみず 清水  
むつみ 睦

**問** 総務課へ引き継ぐ案件のうち、一般競争入札と指名競争入札の比率はどうか。また、現在も随意契約は行われているのか。

**答** 平成21年度の実績では、契約件数は全体で314件であり、そのうち一般競争入札が273件で86.9%、指名競争入札が41件で13.1%となっている。なお、来年度の入札・契約方針では透明性・競争性をより一層確保するとの観点から、原則、一般競争入札で実施する。随意契約とすることができるとする予定価格については、工事または製造の請負については130万円、財産の買入れは80万円、物件の借入れは40万円、財産の売り払い及び物件の貸し付けは30万円、その他の契約については50万円までとなっている。

**問** 景気の悪化により市内業者の仕事が減少している。景気回復を図るため、助成額の数十倍の経済効果が他の自治体でも実証されている。市内業者に特定した住宅リフォーム助成制度を確立すべきではないか。

**答** 新たな助成制度は考えていないが、住宅改修制度を市内業者に限定できるかどうか研究する。

### 中学生通院の無料化を

**問** 子育て支援を推進する立場から、子ども医療費支給事業を中学卒業まで、通院を無料にするよう拡充できないか。

**答** 厳しい財政の中、拡充は難しいと考える。

### 国民健康保険税の引き下げを



「...議案質疑とは別に議員が市の行政全般にわたり執行部側に対し自由に質問できるものです。3月議会では18人の議員が質問を予定していました。」

**問** 失業者が多いなどの市民の暮らしが困難な現状を考慮して、国保税を一世帯1万円引き下げできないか。

**答** 国保財源は厳しく、税率は県の平均と比較しても低い水準にあり、引き下げは考えていない。

### 高齢者の医療費を無料に

**問** 高齢者は老年者控除の廃止や年金控除の縮減、後期高齢者医療の導入などにより、その生活は脅かされている。高齢者の医療費を無料にする自治体もある。75歳以上の高齢者の医療費を無料化できないか。

**答** 後期高齢者医療制度は国の制度であり、市の財政も厳しいことから、高齢者の医療費無料化は考えていない。

### 社会貢献と健康増進の一石二鳥のシルバー人材センター

うたむら 宇多村  
はるえ 春恵

**問** 岡部、川本、花園地区の出先事務所を一旦所に統廃合の実施予定と聞かすが、会員の拠点施設はどうなるのか。

**答** 深谷市シルバー人材センターでは、生きがいや健康増進及び経済的理由のために入会する会員は増加している。しかし、低迷の続く経済状況の影響から受託事業の数は減少しており、会員の就業機会も厳しいものとなっている。改革に向けた部会の課題の一つとして検討されている。自主・自立の実現に向け指導・助言をしていく。

**問** 独自事業（自転車サイクル）の継続はあるのか。

**答** 継続実施をすると同っている。現在岡部事務所を作業場所として事業を行っているが、作業場所についてもシルバー人材センターで検討して

### 入札に談合はないのか

いまむら 今村  
さんじ 三治

**問** 談合を防止するために、入札時に入札業者同士がわからないようにする工夫はないのか。また、談合ができない仕組みを作ることが大切だと思うが、何か方法を考えているのか。

**答** 本市においては、談合防止対策として、指名した業者が顔を合わせることはないように、個別に現場説明会の時間をずらして1者ずつ行っている。なお、来年度より総務課引継ぎ案件については、原則、すべて電子入札の対象とすることに伴い、業者が来庁して行う現場説明会は、廃止となる予定である。これにより、指名した業者同士は、入札前に顔を合わせる機会がなくなり、より公正・公平な競争入札が実施できるようになるものと考えている。



シルバー人材センター

### 一歩ずつ進めよう砂ぼこり対策

**問** レッドロビンの植栽の延長拡大は期待できるのか。

**答** 平成19年度より深谷市砂ぼこり対策協議会を設置し、取り組んできたが、植栽については市で実施する。平成21年度は5戸の農家で236メートル植栽。平成22年度は204メートル。平成23年度は230メートルを予定。5年計画を予定し、緑肥作物種子の配布も実施。「農地の優良土壌は農業者自らが守る」ということが大切であり、地域住民に対しても砂ぼこりを地域全体の問題として理解してもらえよう、引き続き啓発に努めていく。



### 施政方針から

とみた まさる  
富田 勝

**問** 行財政改革について、使用料、手数料、補助金の見直しは財源確保と関係するか。

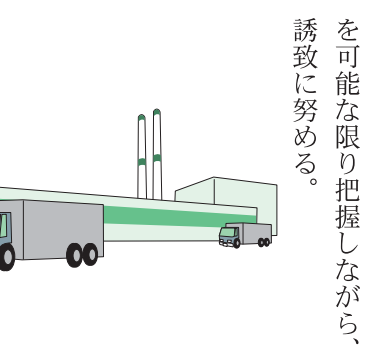
**答** 見直しに係る新たに確保できる財源が、約1億200万円。経費が約900万円である。

**問** 子育て支援に力を入れると示されている。であるなら、子供や障害者には特に使用料など減免すべきと思うが。

**答** 公平性の観点から、受益者負担の原則に基づき見直し

**問** 新規企業の誘致について、現在、誘致できる場所は何カ所、どのくらいの面積があるのか。

**答** 既存工業団地には、ほとんど用地がなく、規模の大きな企業の誘致は困難な状況である。工場跡地や未利用地については、土地所有者の意向



を可能な限り把握しながら、誘致に努める。

**問** 農業振興地域でも農振除外を積極的に進めるべきと思うが。深谷市は農業を売りにしている都市である。企業誘致を進めるには、農地を除外しなければならぬが、こうした相反する面を市はどのように考えるのか。

**答** 平成21年12月に農地法等が改正され、除外について厳格化された。また、県でも農用地を64ヘクタール増加させる目標を掲げた。市としても、主要な農地については、農業振興を図ることが重要と考えている。しかしながら、就業機会をつくることも重要であり、工場等の立地のための市内協議を行っていく。

### 安全・安心の街づくりは？空き家対策を問う！

なかや ひさこ  
中矢 寿子

**問** 高齢化や過疎化などを背景に、全国的に空き家の軒数は増加傾向にある。総務省の統計調査(2008年)によると全国の空き家は約756万戸といわれる。市内を回っていると、今にも崩壊しそうな家が目立つ。老朽化した空き家は、自然災害時に、倒壊の危険性、害虫の発生などの被害が考えられる。また犯罪の温床にもなりかねない。市内に放置されている空き家や、空き地等の実態調査は行っているのか。

**答** 現在、空き家等の実態調査は実施してないが、空き地等の苦情に関するパトロールの時や、職員からの情報提供、自治会との連携による情報収集を行っている。

**問** 空き家等の適正管理に関する条例を定めることで、所

**答** 現在、空き家から市道幹25号線南側までは、平成17年度に整備を完了した。市道25号線から福川までの整備について、曲田排水路にふたをかけて歩道を確保することは、構造面やコスト面を考えると、厳しい財政状況から、大変難しい状況である。当区間には、排水路に沿っての現道もあることから、今後とも安全面に配慮し、水路や道路の管理に努め、皆様の利用を考えている。



有者に空き家の適正な管理を義務付けるとともに、空き家などが管理不全な状態になることを未然に防げると思うが、条例を制定する考えはないか。

**答** 「くらしの環境美化条例」により、空き地・空き家等に関する苦情について所有者や管理者に適正な管理をするよう指導し、対応できている。また、火災の心配がある等の苦情については、火災予防条例に基づき、消防本部と連携し所有者に指導している。今後も、関係機関と連携を図り、市民の快適な暮らしと良好な生活環境の推進を図っていき

### 医師不足解消施策初年度約3千7百万円計上

かとう あつこ  
加藤 温子

**問** 短期的対応寄附講座とは。埼玉県、深谷市、深谷赤十字病院と大学で、特定テーマの研究講座開設のため協定を結び、研究に携わる指導的立場の医師1名と若手医師2名を大学から深谷赤十字病院に派遣するシステム。平成23年度1千万円を予算計上。

**問** 後期研修医研修資金貸与制度及び医師育成奨学金貸与制度創設の検討経緯と各々の予算及び財源捻出の考えは。

**答** 医師確保は第一義的には深谷赤十字病院の責任と考えるが医師不足の状況を受け、他自治体の調査や県医療整備課との協議により検討。平成23年度後期研修医研修資金貸与に490万5千円、医師育成奨学金貸与に2164万7千円を予算計上。今後5年間継続計上。一般財源で対応。

**問** 農業センサス速報値によれば、県内農業従事者の年齢層は70歳から74歳が最も多く、平均年齢も66歳を超えた。市では地域にもよるが、農家の廃屋や草木繁茂した屋敷等も目にする。こうした現象はごく近い将来の農村や農業の崩壊をも予感させる。農業先進地として対応を研究すべきである。

**答** 農業後継者確保対策や農業基盤整備などに取り組んでいる。農村地域に農家や非農家の方が住みたくなくなるような農村環境づくりを研究していく。

**問** 農業地域の生活環境研究を

### 教育委員会組織の改革検討を

たしま のぶよし  
田島 信吉

**問** 本年度実施方針で示された、こども未来部の創設は、教育委員会所管の青少年健全育成に関する事務の移管を最重要視したとしているが、その効果には疑問も多い。市長部局と教育委員会分掌事務には見直すべき多くの課題がある。教育委員会は学校教育に特化すべきであり、社会教育やスポーツ振興、文化財保護等は、市長部局が効率的である等の考えもある。現行法でも市長部局に移管可能であり、組織改革を研究すべきであるが見解を聞きたい。

**答** こども未来部の子育てサポートの整備と教育委員会の現場との関係については、より一層の連携が必要であり、ご意見等参考に、子供たちのために市は何をなすべきなのか、よりよい組織づくりを研

「議会だより」はホームページでも見られます。市のホームページを開き、「深谷市議会」、「市議会だより」(PDF版)の順にクリックしてください。創刊号からご覧いただけます。



岡部公民館

**問** 補助金及び使用料、手数料の見直しによる増減見込み額と、登録団体への配慮は。

**答** 補助金は7500万円の縮減。使用料は10月1日、手数料は4月1日適用し、1800万円の増収見込み。公民館登録団体は使用料50%、65歳以上や高校生以下の団体は75%の減額。冷暖房費は徴収なし。(岡部・川本公民館大ホールは徴収)体育館は65歳以上、高校生以下の団体は半額。グラウンドは高校生以下の団体は半額となる。

### 自治会運営とごみ収集の問題点

くりはら ゆきお  
栗原 征雄

**問** 自治会未加入者は、ごみ収集所を利用することができないのか。

**答** 自治会未加入者の収集所利用については、利用者がその収集所の利用ルールを守ることを条件に、自治会未加入者でもごみ収集所の利用をしているのが現状である。

**問** 自治会に加入したくても加入金がかかり加入が難しい。市から指導はできないのか。

**答** 自治会に加入するときの加入金については、市では詳しくは把握していないが、通常だと加入金ではなく、毎年の自治会費を支払い、自治会に加入していると聞いている。

### 遊歩道計画について

**問** スマイルパーク東側遊歩道計画の、今後の進捗状況について聞きたい。



スマイルパーク東側遊歩道

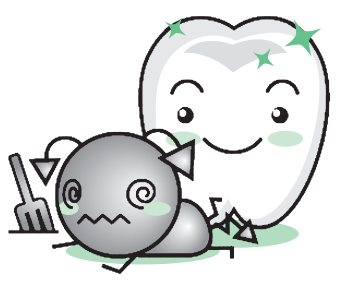
**問** 現況の遊歩道が暗いので、外灯の設置はできないか。

**答** スマイルパークから市道幹25号線までの遊歩道については、道路交差点や住宅地付近の4カ所に外灯が設置されている。今後は利用状況を十分調査し、地元自治会等と協議して検討していく。



### 虫歯予防にフッ化物は有効、さらなる利用の拡大は？

こま 五間 くらみ子



は、市保健センターと連携を図る中で方向性を見極めていく。

**問** 健康な歯を生産保つために、幼児期からの歯科保健は重要であると考えます。市で行っている虫歯予防の対策は。

**答** 乳幼児健診で、歯科検診やブラッシング指導、フッ化物歯面塗布等を実施している。

**問** フッ化物の有効活用に対する市の考えを聞きたい。

**答** フッ素を利用した虫歯予防の有効性は認識している。虫歯予防の手段の一つとして今後乳幼児健診や虫歯予防イベントなどで、保健指導と合わせてフッ化物歯面塗布を実施するなど、フッ化物の有効活用を図っていきたい。

**問** フッ化物洗口を各小中学校で取り入れる考えは。

**答** 現在市内9校で希望者にフッ化物洗口を取り入れている。今後こうした取り組みを各学校に広めていくかどうか

**問** 子宮頸がん予防ワクチン接種に正しい情報を発信していく必要がある。その具体的な取り組みは。

**答** 接種対象者や保護者に対し、正しい情報を発信していく必要性を感じる。個別通知での啓発も考えていきたい。

**問** 乳がん・子宮頸がんの無料クーポン券導入による効果と結果を踏まえた市の方針は。

**答** すべての年齢階層ごとで受診者数が増えている。個別通知による受診勧奨は新規の受診者数に効果があった。このことを踏まえ平成23年度も事業の継続をしていく。

**問** 旧川本町当時、保育園用地取得に苦慮した。一括利用を図っていた土地を割り、対応した地権者に優先的払い下げをすべきでは。

**答** 田中保育園の跡地については、前地権者を対象に売り払いを検討していく。

### 軽自動車税 誤課税の対応

ながた かつひこ 永田 勝彦

**問** 自動二輪車の二重課税が発生、課税誤りの納税者への説明遺漏。二重課税が発生しない対策を講ずるべきでは。

**答** 早速、当該納税者へ訪問し謝罪をした。名義変更があったにもかかわらず、新旧所有者に課税の件は、今後、事務処理を見直して、二重課税防止対策を講じ、誤課税を未然に防いでいきたい。

**問** 深谷市上原・藤沢地区の工業団地誘致

**問** 企業誘致を標榜する我が市として大変重要な事業。関係する地権者のほとんどから賛意が得られると考えられるが、難しい局面の際の対応・対策について強い意志を問う。

**答** 賛同いただけない方には、本工業団地の必要性を説明し、粘り強く対応したい。また、市長・副市長をはじめとする全庁的な取り組みとしており、最大限努力していきたい。

**問** 深谷市瀬山から140号への進入の「瀬山入口信号」の手押しボタンは車両運転者から遠すぎる。至近へ移動は考えていないのか。

**答** 押しボタン信号機は歩行者のためのもので位置変更は難しい。

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

**問** 深谷市行政監察員に南雲 芳夫氏

### 平成23年度 組織改正について問う

たじま ひとし 田嶋 均

**問** こども未来部について、教育委員会、福祉健康部とのすみ分けをどう考えるのか？

**答** こども未来部は、幼少期から成人までの環境整備を使命とする。教育委員会は、学校教育を中心とした教育活動の推進を、福祉健康部は、生活弱者や高齢者、障害者サポートを使命とする。

**問** こども未来部設置により、学校教育課は、教育に専念できるのか？放課後の児童・生徒の問題は、こども未来部の範疇になるのか？

**答** 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

**問** 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？

**答** 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

**問** 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？

**答** 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

**問** 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？

**答** 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

**問** 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？

**答** 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

**問** 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？

**答** 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

**問** 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？

**答** 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

**問** 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？

**答** 教育委員会は、放課後や学校外において、教師が直接児童生徒とかかわる指導など、学校教育の中で行う必要があるものは従来どおり実施する。

**問** 保護者等による児童・幼児虐待の対応窓口は一本化できるのか？



### 総合支所はいつ変わるか？

**問** 組織改正による総合支所の業務内容はどのように減るのか？特に福祉関係は？

**答** 福祉健康関係は、専門業務や発生件数の少ない業務を本庁で取り扱うこととする。総合支所全体で、96%の事務処理を従来どおり窓口で扱う。

**問** サテライト市役所型公民館の移行に対する住民合意形成の考え方は？

**答** 一定の方向性が示せる段階になったら、まずは市民代表である議員皆様に説明する。

ふかや市議会だより、点字版とテロップ・CD版も発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会（TEL573-6563）へご連絡ください。

### 放置自転車引き取り時にかかる手数料について

つねあき 恒明 みた 三田部

**問** 放置自転車を撤去した後、引き取りに来る所有者の割合は？

**答** 今年度引き取り割合は14.6%。昨年度は13.9%。保管期間は条例上3カ月となっているが、シルバー人材センターや自転車商組合に譲渡後、廃棄処分をするまでに6カ月程度かかる。

**問** 自転車の引き取り手数料・保管料も自治体によって差がある。本市では無料で引き渡しているが、手数料・使用料金見直しの中で、保管場所の確保、所有者への撤去知らせ等、コストがかかることから、手数料も見直すべき。

**答** 引き取り割合が15%以下と低く、有料にした場合はさらに少なくなる懸念がある。



保管中の放置自転車

### 障がい者施策について

**問** 市内循環バスへの障がい者本人割引を検討すべき！

**答** 本市以外のすべての市町村バスは、一回利用ごと。本市では一日乗り降り自由100円という設定は、県内で最も低額な設定であり、今のところ、料金割引制度導入については考えていない。

**問** 障害者自立支援法改正に伴い、早期に基幹相談支援センターを設置すべき！

**答** 施行は来年4月であり、役割・機能、運営基準や財政措置など具体的にまだ示されていない。国や県、近隣市の動向等、注視していきたい。

### ●人事案件

■深谷市教育委員会委員に西倉 郁夫氏

深谷市教育委員会委員岩田 慶治氏の任期が平成23年3月31日に満了となりました。このため、後任として西倉郁夫氏を任命することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の任命に同意しました。

■深谷市固定資産評価審査委員会委員に黒澤 昭二氏

深谷市固定資産評価審査委員会委員黒澤昭二氏の任期が平成23年3月30日に満了となりました。このため、引き続き同氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審議の結果、同氏の選任に同意しました。

■深谷市固定資産評価員に新船 昇 氏

深谷市固定資産評価員栗田 理一氏の深谷市職員の仕事異動に伴い、後任として新船昇氏を選任することについて、市長から同意を求められ、審

### 請願の審査結果

請願第40号 (採 択)

深谷市岡部地区用排水維持管理連合会にたいする運営費補助金の継続について  
深谷市人見 482  
深谷市岡部地区用排水維持管理連合会連合会長 伊藤幸徳ほか4人

# 深谷市議会議員名簿

(50音順)



## 6月定例会の日程のお知らせ

6月2日▶23日

平成23年6月定例会は次の日程で午前9時から開催する予定です。

6月 2日(木)	開会・議案説明
3日(金)	議案説明
7日(火)	議案質疑
8日(水)	〃
9日(木)	市民産業委員会
10日(金)	福祉文教委員会
13日(月)	環境都市委員会
14日(火)	総務委員会
16日(木)	一般質問
17日(金)	〃
20日(月)	〃
21日(火)	〃
23日(木)	討論・採決・閉会

※日程は変更になる場合があります。詳しい内容は議会事務局(市役所3階)までお問い合わせください。

TEL 048(574)6662

FAX 048(574)6673

メールアドレス

gikai@city.fukaya.saitama.jp

会議録の閲覧は…

図書館・議会事務局

市政情報コーナー(本庁舎1階)

### ●会議録検索のアドレス

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/fukaya.html>

氏名	住所	電話番号
新井 清	黒田1444番地1	584-0255
石川 克正	本住町7番54号	571-1341
今村 三治	上野台136番地	573-1327
加藤 温子	岡里1番地12	585-0176
加藤 利江	上柴町東3丁目5番地1	574-1717
倉上 由朗	明戸47番地	571-3884
五間くみ子	上野台2352番地 ダイアパレスBW深谷826号	574-7027
小森 秀夫	普濟寺1217番地2	585-6367
柴崎 重雄	上柴町西3丁目21番地3	571-2843
清水 修	畠山923番地1	583-4726
清水 健一	小前田2406番地8	584-0395
清水 睦	上野台3460番地10	574-3986
須藤 邦男	榛沢556番地1	585-1874
高田 博之	上敷免322番地	571-0039
武井 伸一	横瀬1322番地10	587-2770
田島 信吉	上原10番地	583-2764
田嶋 均	岡3310番地	585-3326
為谷 剛	上柴町西1丁目2番地2	575-1592
仲田 稔	折之口116番地2	572-7237
永田 勝彦	長在家198番地	583-2095
中矢 寿子	上野台410番地2	574-1146
馬場 茂	人見841番地2	572-7321
松本 政義	武蔵野2437番地1	584-1727
三田部恒明	西大沼351番地11	574-6273
村川 徳浩	東方2603番地	571-1191
吉田幸太郎	岡2580番地	585-5205

## 編集委員会

委員	副委員長	委員長
加藤 温子	石川 克正	清水 健一
中矢 寿子	五間 くみ子	馬場 重雄
柴崎 重雄	高田 博之	森田 秀夫
馬場 重雄	高田 博之	中矢 寿子
五間 くみ子	高田 博之	中矢 寿子
中矢 寿子	高田 博之	中矢 寿子
清水 健一	高田 博之	清水 健一
石川 克正	高田 博之	石川 克正
加藤 温子	高田 博之	加藤 温子

## 編集後記



1期4年。任期満了の本年3月定例会は、東日本大震災という未曾有の大震災により一般質問の予定日を休会とし、市民の安全と被災地の支援を最優先と考える措置がとられました。議会最終日には、議員定数のさらなる削減が決まり、平成19年の12月定例会で定められた28名から26名にすることが議決されました。改選後においても、市議会及び議会だよりにご理解とご協力をお願い申し上げます。

中矢 寿子  
高田 博之



リサイクル適正(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

○この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。